

2022年第2回おおぶ文化交流の杜運営協議会

日 時 : 2022年11月17日(木) 14:00~16:00

場 所 : おおぶ文化交流の杜 会議室

出席者 : 委員7名／大府市(文化交流課田中課長・大河内係長) 事務局(JTBコミュニケーションデザイン:以下JCD 総合館長松井・営業第2課森・文化交流部門マネージャー舟瀬 図書館流通センター:以下TRC 図書館館長上野・図書館部門マネージャー小倉)

発 言 者

議 事 錄

事 務 局 本日はお忙しい中お集まり頂き、ありがとうございます。

これより2022年度第2回おおぶ文化交流の杜、運営協議会を始めさせていただきます。

司 会 アローブも開館9年目を迎えました。新型コロナウィルス感染拡大の影響を受け、現在も引き続き厳しい運営を強いられていますが、感染対策をしながら安心安全な運営を心がけていると聞いております。

本日は文化部門・図書館部門の本年度上半期報告と、今年度の事業運営計画について議論して頂きたいと思っております。忌憚のないご意見をお願いします。本協議会の規約に則り委員過半数が出席の為会議成立となります。

～2022年度上半期文化交流部門より説明～

司 会 今年度もコロナ状況を考慮しながら様々な方法で工夫しながら運営されているのが伝わってきた。補足や感想、ご意見などがあれば伺いたい。

A 委 員 アローブの市民ボランティア育み隊としてフロントスタッフをはじめ、年2回のアローブTGIF企画運営に関わっているが、月に1回の育み隊ミーティングに毎回総合館長が同席してくれている。また関連のイベントにも館長自ら足を運んでくれて全面的にバックアップしてくれた。アローブスタッフ、P&Pさんにも協力していただき感謝している。今後より一層の育み隊の成長を期待している。

司 会 7/29のTGIF「おおぶの杜のパーカッションの夕べ」も好評だったようだがどうか。

A 委 員 その通りだ。チケットもすぐに完売となり、アンケートも高評価だった。

B 委 員 13ページのオリーブ栽培講座で「1名の参加者がくわでケガをしたため、消毒と絆創膏で応急措置をした」とある。また35ページのサポーター養成講座秋の見学バスツアーで「参加者全員に国内旅行保険に加入していただいた(費用は弊社負担)」とあるが、保険等の対応について教えていただきたい。

J C D 育み隊に登録している人は任意で大府市社会福祉協議会のボランティア保険に入ることができるのでご本人の意向により加入していただいている。またアローブとしては公立文化施設賠償責任保険に加入している。アローブ外での活動は事故や怪我などのリスクが館内よりも高まるため、参加される方に別途保険をかけている。杜の学校②「鈴木バイオリン工房を見学」イベントや秋のバスツアーで可児市文化創造センターへ見学に行かれた方も費用は弊社負担で保険に加入した。無料イベントの場合、別途保険代だけ徴収するか今までどおり弊社負担にするかは現在検討中であり、今後は参加者の方にリスクを

ご理解していただいた上で保険料を頂戴して加入する可能性もある。

C 委員 相変わらず多種多様なイベント事業を展開をしていると感じた。アローブには小学生が参加するイベントが多いようだが、小中学校生へのイベント案内はどのように行っているのか。

J C D 基本的には小中学生にチラシ配布をする許可を大府市学校教育課にいただいて学校を通して配布している。イベント後のアンケートの「何で知りましたか」という項目に「学校で配られるチラシを見て」と回答している人も多い。

C 委員 一人ひとり全員に配るのか。

J C D そうだ。イベントによっては対象学年だけという場合もある。最近、チラシ類のお知らせは紙媒体から電子データへ変更となったため、電子データで配布している。

C 委員 イベントのアイディアはどのように出しているのか。

J C D 普段からつきあいのあるアーティストと何度も話し合いを行い、その中から生み出されたり、他館の先駆的な取り組みを参考にしたりしている。

司 会 市民の方からのアイディアも取り入れているのか。

J C D もちろんその場合もある。いただいたご意見を参考にして話し合いを重ねている。

A 委員 11/3 のオカリナ・ピアノ・マリンバトリオコンサートで影アナを担当した。開演は14時だが、午前中から子ども達が廃材で楽器を作るワークショップを行っていた。そのワークショップで作った楽器をコンサート中に舞台に上がって出演者の方々と一緒に演奏できるという体制を整えており、とても良い企画だと思った。また、ふれあいの路で大府の地元農園によるフルーツ販売もあり、とても活気に溢れていた。コンサートをただ開催するだけでなく、他の活動と連携して互いに盛り上げていくのは大変良いことだ。ホール主催事業担当者の今までの活動が実を結んでいると感じた。

～2022年度上半期図書館部門より説明～

司 会 図書館もコロナ状況を考慮しながら様々な方法で工夫しながら運営されているのが伝わってきた。補足や感想、ご意見などがあれば伺いたい。

D 委員 昨年の図書館こどもまつりのおはなし会は密にならないよう人数制限をして、広い部屋に参加者30名のみで実施したため、読み手側と参加者側にかなり距離ができてしまい、互いにやりにくい面が多々あった。今年度は同じ広さの部屋に参加者80名で開催したため適度な距離感で良かったと思う。6月末ぐらいまではコロナウィルスの影響がかなり少なかったため、図書館こどもまつりはかなり大勢の参加者が集まるのではないかと思ったが、7月に入ると急にコロナの影響が出始め、さらに子どもの感染率が上がってきたためどうなるのか心配になった。しかし当日になってみるとあまりに大勢の方が参加を希望されることもなく、かといって全く人がいないわけでもなく、ちょうど定員程度におさまった。ある程度余裕もあり、ゆったりとした感じで開催できたので良かったと思う。

- E 委員 私もおはなし会を実施した。予想以上に多数の希望者が押し寄せたらどうするかなど不安もあったが、実際はほどよい参加人数で開催することができた。笑顔も多く、余裕を持って取り組むことができたので良かった。ただ、オープニングでは市長が挨拶をされると次に始まる工作の整理券を待つ列ができてしまい、人がそちらに流れて挨拶の舞台正面に人がいなくなってしまった。昨年は整理券を配る場所を舞台の近くにしたため、舞台正面辺りに人が集まりすぎて混乱が起った。そのため今年度は舞台から場所をずらしてホワイエの方で整理券を配るようにしたが、人がそちらに行ってしまって挨拶をしている正面から人がいなくなるということが起った。また受付場所がわかりにくいという声もあったので来年度はその点も含めて考えた方がよい。
- D 委員 イベント数が多いのでイベント開始時間と受付時間が重なる場合があり、難しいと感じる部分もあった。参加している子ども達から見ると選択できる幅が広がるのでイベントの数は多い方が良いとは思う。
- E 委員 今年度の図書館子どもまつりは「魚」がテーマということで、色紙を魚の形に切って5月ぐらいから利用者の方に自由に持っていっていただいた。用意した分がすぐになくなってしまって何度も補充するぐらい大人気で、最終的には色紙が全部なくなってしまいお断りせざるを得なかったほどだ。その色紙の魚にイラストを描いたり、色を塗ったりしたものをまた図書館にお持ちいただきて、それをアローブ館内中に掲示した。子どもの自由な発想や感性は大人の想像を遥かに超え、豊かで素晴らしい作品がたくさん集まった。
- F 委員 アンケートの感想に「金の魚を探すのが楽しかった」とあるが、金の魚を探すというアイディアは大変面白いと思う。様々な工夫がされていると感じる。
- 司 会 0. L. V の活動について何か補足等はあるか。
- D 委員 7/1に行われた「大人のためのおはなし会」は申し込み日前から問合せが多数あり、申込開始日には電話やカウンターでの申し込みが殺到し、すぐに定員に達してしまった。出演してくださったこでまりさんの人気も関係していると思われる。12月のこでまりさんの大人向けおはなし会は「女の一生」をテーマにする予定だ。図書館入ってすぐの特設展示コーナーに関連する本を置いているが、非常に貸出率が良い。本だけでなく絵本も手にとっていただきて大人でも楽しめる絵本として多くの方に親しんでいただけたと良いと思う。
- G 委員 コロナウィルス影響を受けて企画したときと実行したときの状況によって差が生じるのが大変ではないかと思う。
- E 委員 確かにそうだ。例えば募集したときは定員80名を設定したが、開催間近になって急に規制しなければならない状況になってしまった場合どうするかなど、前もって入念に考えておかなくてはならない。冬休みに第8波が来るかもしれないと言われているので今後も注意していきたい。
- B 委員 「図書館からSDGs実践中」のアンケートの図書館についての意見に「子どもがたくさん本を借りたらごほうびやプレゼントがあるといいと思う。HPにログインしたら借りた図書のりれきを見れるようにしてほしい」とあるが、履歴を見る能够にするようにすることについてはどうか。

- T R C 読書通帳のような形で自分の読んだ本が記載されていくというようなシステムを取り入れている図書館もあるが、大府では実施していない。
- B 委 員 今後そのような意見も多く出てくると思われるが、実施する予定はあるか。
- 大 府 市 図書館開館前にもそのような意見はあったが、大府市としては履歴を記すということは個人情報の観点から実施しないということになっている。
- E 委 員 「図書館から SDG's 実践中」を午前の部と午後の部を通して全部観覧した。内容的に大変素晴らしいが、図書館が主役ではないように感じた。タイトルやチラシを見て期待していた分、図書館にスポットが当たっていない感じがして少し違和感があった。
- T R C 午前の第1部は民放5局のアナウンサーの朗読だったので図書館が主導する形ではなかったが、第2部のパネルディスカッションは図書館のイベントとして企画・進行した。
- 大 府 市 この企画は大府市からお願いした。最初の段階では図書館を主体としたものを想定していたが、進行するに連れ、より大きな視点のものへと変更した。今回のイベントで学ぶ部分も多かったと思われるので改善も含め次回へ生かしていきたい。
- F 委 員 「大人のためのおはなし会」で申込用紙に「無断キャンセルされた場合には次回ご参加をお断りする場合がある」旨を明記した結果、無断キャンセルが発生しなかったとあるが、これはいいアイディアだと思う。コロナウィルスの影響もあるかもしれないが、気軽にキャンセルする人が増えていると感じている。このような文面を記載するだけで無断キャンセルを防ぐことができるなら活用するとよいと思う。
- T R C 人気があるイベントの場合、申込者が定員に達し時にはお断りする場合がある。実際、当日になって連絡なく参加されない人がいると、その分をお断りした方に譲ることができたのにと申し訳なく思う。

～2023年度運営計画「文化・交流部門」「図書館部門」より説明及び統括～

- 司 会 2023年度も新しい試みで展開していく事業と定番化されている事業ともに工夫して運営を計画されているのが伝わってきた。ご意見ご質問などあれば伺いたい。
- F 委 員 2023年度はアロープ開館10周年になるが、10周年イベントは何か考えているのか。
- J C D 2023年度は10周年イベントに向けて準備をさせていただき、再来年2024年度にイベントを行う予定だ。
- B 委 員 市内小学校を対象とした図書館見学会はどのような形で行うのか。
- T R C 小学校から見学したいという旨の依頼連絡が入り、進めていく。社会見学の一環としてクラス単位で見学に来られることが多いが、バスで120名ぐらい来館されることもある。市内の子どもたちなので図書カードを作ってもらうことが多い。
- C 委 員 他館へはあまり行かないでよくわからないが、以前の大府中央図書館は雰囲気が少し暗いような感じだった。アロープは雰囲気も明るく、活気があると思う。図書館の雑誌や新聞などのコーナーにご年配の方がくつろいでいらっしゃるもの、お子様連れの方が気

楽に足を運んでくださるのも大変良いことだ。図書館、文化部門ともに親子で参加できるイベントがたくさんあることも高評価の1つだ。サポーターやスタッフの皆さんの努力あってのことだと感じる。私も余生を楽しみながらアローブに通っている。

大府市 ボランティアの方もスタッフの方も本当に良いイベントを企画し、実施されている。行政も皆さんの想いに見合うよう互いに連携、協力し今後とも尽力していきたい。

事務局 来年度第1回運営協議会の開催予定は2023年5月25日（木）の予定だ。

お忙しいところご出席いただきありがとうございました。

皆様方のご意見をもとに市民や地域団体の皆様とコミュニケーションを大切にしながら今後も皆様に満足して頂けるように、スタッフ一同努力してきたいと思っておりますのでご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いします。

司会 以上で協議事項はすべて終了した。閉会。